

AUTOPOLIS RIDING SCHOOL

基本ワード集

この基本ワード集は、サーキットで主に使用されている基本的な言葉です。

インストラクターの話を理解する上でも役に立つと思いますので、頭の中でよく理解しておきましょう！！

サーキット編

1) レコードライン	サーキットをできる限りより速く、かつ安全に走るための理想的な走行ライン。
2) スロー走行ライン	スロー走行中は、レコードラインを走行するライダーを妨げてはいけません。 スロー走行とは、トラブル（ガス欠・エンジン不調） / コース慣熟走行中のライダーを指します。 スロー走行は基本的にコースピット側（左側）を走行してください。
3) オーバーラン	走行中にラインを外れ、コースアウトしそうになること。
4) コースアウト	アスファルト（コース上）から外れ、ランオフエリア（芝生・グラベル）に出てしまうこと。
5) コースイン	ピットロードからコースに入ること。 2コーナーまでは左側を走行して、レコードラインへ合流する場合は十分な速度まで加速してください。
6) ピットイン	コースからピットに戻ること。 ピットインする場合は必ずピットインの合図（手を上げる、または足を出す）をし、 最終コーナーから左側を走行しピットインしてください。
7) ピットロード	ピット前の走行レーン。ピットロードはピットインしてくる車両が優先されます。
8) ゼブラゾーン	各コーナーの外側・内側にある縁石を言います。
9) コーナー侵入看板	コーナー手前にあるコーナーまでの距離を表示した看板です。
10) 複合コーナー	コーナーの曲がっている角度が途中で変わるコーナー。 コーナーの入口がきつく、出口がゆるかったりその逆もあります。
11) カント	通常コースはコーナーの内側が低く外側が高く設計されています。
12) ラップタイム	サーキットを1周するのにかかった時間。
13) アベレージタイム	サーキットを数周した平均ラップタイム。

車体編

1) サスのダンパー伸側・圧側	サスが伸びる方向の速度を調整するダンパーを伸側、縮む方向の速度を調整するダンパーを圧側と言います。 通常、フロントの下側に圧側調整、上側に伸側調整が付いています。 リアは下側に伸側調整、上側に圧側調整が付いています。
2) サスのイニシャル	前後のサスには衝撃をたわませることによって吸収するスプリングが付いています。 そのスプリングに反力が掛かっていない伸びた状態をイニシャルと言います。 スプリングの衝撃に対する反力を調整するためにスプリングを縮めたり伸ばしたりすることを イニシャルセットと言います。
3) 車高	地面からバイクの任意のポイントまでの高さを車高と言います。 よくバイクの特性を変えるため前後の重量配分を変化させます。この時に使う方法が車高調整です。

ライディング編

1) ハングオン	コーナー中の内側に向けて腰をズラし膝を開いたフォーム。(英語でハングオフとも言う) 見た目はぶら下がっていたり、バイクを力で内側に引込んでいるようにも見えますが、 実際にはコーナリング中の遠心力とのバランスが働いているため、コーナリングフォームとして自然なスタイル。
2) バンキング	コーナーに向け車体を傾けていくこと。
3) クリッピングポイント	コーナーで一番イン側に寄るポイントで、アクセルを開け始めるポイントでもある。 通常クリッピングポイントは、コーナーの頂点よりなるべく深くとるようにします。
4) 立ち上がり	コーナーを抜け、加速するポイントをいいます。
5) アウトインアウト	コーナーは次のストレートでどれだけ速度を上げられるかに重点をおいて通過します。 そのために出来るだけ立ち上がりラインをまっすぐに取らなければなりません。 立ち上がりラインを直線に近く取るためにはコーナーの進入はアウトから入る必要があります、 コーナー中央から手前で向きを変え、立ち上がりは通過半径をなるべく大きく取るため外側にはらんで加速します。 このことをアウトインアウトと言います。
6) スローインファーストアウト	コーナー入口でしっかり減速して余裕をもって侵入し、そこからアクセルを早く開け 速いスピードでコーナーをあ立ち上ること。
7) 立ち上がり重視	コーナーの進入スピードを抑えることでバイクの向きを早く変え、早めにアクセルを開けられるようなライディング。
8) トラクション	走行中にタイヤが路面に押し付けられている感覚。
9) バンク角	コーナー中に車体が傾いている角度。リーンアングルとも言う。
10) シフトダウン	コーナー侵入時にコーナーに合ったギアに落とすこと。 この時アクセルをあおってリアタイヤをロックさせないようにエンジン回転を合わせなければなりません。
11) シフトアップ	コーナー立ち上がりで加速する時にギアを上げること。 サーキット走行でよく使われるテクニックのひとつに、クラッチを使わないシフトアップの方法があります。 ここでは開いているアクセルを少し戻し、ミッションに掛かる力を一瞬抜いたと同時にシフトペダルでギアを送ります。
12) アクセルワーク	減速/コーナリング/加速時に細かくアクセル開度をコントロールすることを言います。 (スロットルワークとも言う)
13) パーシャル	コーナリング(旋回)中に、バイクが加速も減速もしない状態のアクセル開度をいいます。
14) ブレーキリリース	バイクが直立状態ではフロントブレーキをフルに掛けることができます。 この状態から徐々にバイクが傾き始めるとともにブレーキを徐々に解除しなければなりません。 そしてフルバンクになったときには完全にブレーキを解除した状態になります。このことをブレーキリリースと言います。
15) 定常円旋回	コーナーの入口から出口まで同じようなバンク角でコーナリングすること。 だらだらとした旋回のしかたでなかなかアクセルが開けられないのでいい走り方とはいえませんが、 コーナーによってはこの走り方をすることもある。
16) 外足荷重	コーナー外側のステップを意識的に踏み込み荷重をかけることを言います。
17) 切り返し	バイクを右から左、左から右というように逆に倒し込むことを言います。
18) ステップワーク	コーナー進入、立ち上がり、切り返し時に荷重をかけやすくステップを踏みかえることを言います。
19) 目線	よく「バイクはライダーの見る方向に進む」とか「足下を見ず目線を遠くに」といわれます。 その通りで、特にコーナーではこの目線の位置が重要です。 この目線を先に先にもっていけるようになれば行動でも速めに危険を察知することが可能です。
20) 先を考えたライン取り	コーナーとコーナーが連続する場合、コーナーの立ち上がりが次のコーナーの入口になるわけです。 前のコーナーを頑張らずぎれば次のコーナーに悪影響を及ぼすことがよくあります。 トータルで早いライディングをすることが大切です。